



ゆめに向かう『やる気』ゆめをかなえる『本気』何度でもやり直す『根気』

輝け！口石っ子 佐々町立口石小学校 学校便り

令和3年10月11日 20号 文責 校長 岩下裕之介

学校ブログのすすめ

今年度も早いもので半年が過ぎました。昨年から続くコロナ禍により、何度となく教育計画の変更を余儀なくされながらも、子どもたちの育ちを第一に考えながら

- ① 勉強名人を目指す
- ② 心をみがく一日一善（あいさつ，へんじ，くつならべ）
- ③ 上級生は下級生のお手本になる

を口石小学校の合言葉として、教育活動を進めているところです。

みなさんよくご存じのように「やる気・本気・根気」は、口石小学校の校訓です。私たち大人は子どもたちに、

「本気でやればできます。」

「どうしてちゃんとやらないの。」

と、声をかける場面があります。もちろん、怠けているだけの場合もありますが、本当に困っている子ども、できなくて苦しんでいる子どもも多くいます。そのような子どもをそのままにすれば、当然学校が楽しくなくなり、不適切な行動も多くなります。叱られることも多くなり、ますます学校が楽しくなくなるという悪循環に陥ります。

そうならないようにするためにも、子どもから、なぜできないのか、何が難しいのか聞き取り、どこにつまずいているのか様子をしっかりと見て、**どうすれば「できる」ようになるのか、支援の手立てを考えることを大切にしています。**これは、**学習面でも生活面でも同様**です。子どもがつまずいている時や困っている時に、**何につまずいているのか、なぜできないのかを考えること。**また、**こういう困り感**は、一部の子どもだけでなく、私達大人の世界でも**誰にでも普通にあることなので、大丈夫であること。**その原因を分析し、次の一手を打ち続けることが**大切であることを、教職員みんなで共通理解して進めているところ**です。

具体的な解決策がすぐに見つかることの方が少ないのも事実です。しかし、なぜできないのかを保護者の皆様はもちろんのこと、クラスのみんなや多くの先生方で一緒に考えることで、具体的な解決策、あるいは、支援の手立てが見えてくることもあります。その中で、子どもたちや我々大人の持ち味（個性＝よさ）を存分に発揮していきたいと考えています。自分ががん



ばることで誰かが助かったり、喜んだりしてくれることは、幸せなことです。まずは、大人が子どもの小さな変化に気付くこと、それが支援の第一歩ではないでしょうか。

さて、お子さんが下校の時、満足いっぱいの顔で家に帰るのはどんな時でしょうか？
家に帰ったお子さんが「お母さん、お母さん」と、今日学校であったことを、堰を切ったように話し始める。

「今日学校でね、かけ算の○の段が言えるようになったっちゃん。」

「今日ね、二重跳びができたとよ。」

「体育の時間に、はじめて逆上がりができたとよ。」

やはり、自分の成長を自分で自覚した時、お子さんの顔が輝くと思います。その為に口石小学校が大事にしているのは、毎日の授業です。「おじゃまします。授業参観！○年生」や「研究授業」などの情報を学校ブログで毎日発信しています。

また、「今月の予定」や「今日の給食」などの情報も、スマホや携帯電話等ですぐに確認できるようにしています。お子さんの小さな変化に気づき、自然な会話を楽しむためにも、ぜひ学校ブログを活用しお子さんを励ましてあげてください。どうぞよろしくお願いいたします。

教育実習

口石小学校に、教育実習の先生が来られることになりました。お名前は、○○○○先生です。「○○」という名前を聞いてピンときた人もいると思いますが、○○教頭先生の息子さんです。○○先生は、10月4日（月）から10月29日（金）の約1か月間、主に6年2組の学級を中心に、教育実習をされます。いろいろとお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

活躍する子供たちの紹介

全国大会出場 空手 組手の部

6年

3年

全九州小学生大会 長崎県代表 女子6年生以下ダブルス 6年

長崎県小学生バレーボール大会 佐世保市予選会 準優勝 大岳バレーボールクラブ